

科目名	総合日本語初中級 I						
科目名(英)							
単位数	14単位	時間数	218時間	担当者	柴藤絵美		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	前半は聞くこと、話すことを中心に基本的な言葉や文法を学ぶ。後半は日常的なテーマの教材を使い、「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能を総合的に学習する。						
授業形態	講義:	○	演習:		実習:		
				実技:		※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		日常的な話題について書かれた具体的な内容の文章を読んで理解できる。	
	○	○		○		日常的な場面の自然に近いスピードで話される会話を聞いて、ほぼ理解できる。	
	○	○		○		事前に準備しておけば、簡単な説明やスピーチができる。	
	○	○		○		身近なテーマについて、段落のある簡単な作文が書ける。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他『みんなの日本語初級 I・II 第2版』スリーエーネットワーク 2012年 平井悦子・三輪さち子『中級へ行こう第2版』スリーエーネットワーク 2016年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1~20	第31課～第35課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	21~40	第36課～第40課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	41~60	第41課～第45課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	61~84	第46課～第50課				授業の前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	85~89	第1課				授業の前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	90~94	第2課				授業の前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	95~99	第3課				授業の前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	100~104	第4課				授業の前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
105~109	第5課				授業の前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で確認テスト(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
確認テスト	◎	◎		○		50%	
履修上の注意							

科目名	読解初中級 I						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	柴藤絵美		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	お知らせや説明書などの身の回りの文書や、簡単な言葉で書かれた新聞記事や小説、意見文、説明文などが読めるようになることを目指す。						
授業形態	講義:	○	演習:		実習:		
				実技:		※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		日常的な話題について書かれた具体的な内容の文章を読んで理解できる。	
	○	○		○		知らない言葉や文法が多少あっても、前後関係から意味を推測できる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他『初級で読めるトピック25』スリーエーネットワーク 2014年 佐々木仁子・松本紀子『日本語総まとめN3読解』アスク出版 2017年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第31課・第32課				指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	2	第33課・第34課				指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	3	第35課・第36課				指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	4	第37課・第38課				指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	5	第39課・第40課				指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	6	第41課・第42課				指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	7	第43課・第44課				指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	8	第45課・第46課				指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	9	第47課・第48課				指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	10	第49課・第50課				指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	11	第1週1日目～3日目				指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	12	第1週4日目～6日目				指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	13	第1週7日目～第2週2日目				指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	14	第2週3日目～5日目				指定された宿題を行うこと。(1時間)	
15	第2週6日目～7日目				指定された宿題を行うこと。(1時間)		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)中間試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	中間試験	◎	◎		○		50%
履修上の注意							

科目名	聴解初中級 I						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	柴藤絵美		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	日常的な場面でのやや自然に近いスピードの会話を聞いて、話の具体的な内容がほぼ理解できるようになることを目指す。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		周りの人との雑談や自由な会話で、だいたいの内容が理解できる。	
	○	○		○		指示や説明などから必要な情報を聞き取り、何をすべきか理解できる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他『聴解タスク25』スリーエーネットワーク 2017年 佐々木仁子・松本紀子『日本語総まとめN3聴解』アスク出版 2011年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第31課・第32課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	2	第33課・第34課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	3	第35課・第36課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	4	第37課・第38課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	5	第39課・第40課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	6	第41課・第42課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	7	第43課・第44課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	8	第45課・第46課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	9	第47課・第48課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	10	第49課・第50課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	11	第1章①			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	12	第1章②			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	13	第2章①			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	14	第2章②			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
15	第2章③			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)中間試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	中間試験	◎	◎		○		50%
履修上の注意							

科目名	会話初中級 I						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	柴藤絵美		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	身近で日常的な話題について、初級で学んだ語彙や文法を使って会話ができるようになることを目指す。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				身の回りの日常的な場面で、誤解をしたり誤解を与えたりすることなく、簡単なやりとりができる。	
	○	○				初級で学んだ語彙や文法を的確に使う、身近で日常的な話題(趣味や週末の予定など)について会話ができる。	
	○	○				準備をしていけばフォーマルな場で短いスピーチをすることができる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他『みんなの日本語初級Ⅱ第2版』スリーエーネットワーク 2012年 西口光一『日本語おしゃべりのたね』スリーエーネットワーク 2007						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第31課・第32課				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
	2	第33課・第34課				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
	3	第35課・第36課				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
	4	第37課・第38課				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
	5	第39課・第40課				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
	6	第41課・第42課				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
	7	第43課・第44課				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
	8	第45課・第46課				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
	9	第47課・第48課				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
	10	第49課・第50課				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
	11	ユニット2 いただきまーす				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
	12	ユニット3 ちょっと買い物に				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
	13	ユニット4 ジェスチャーで伝えよう				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
	14	ユニット5 旅行大好き				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
	15	ユニット6 ペットと暮らす				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
評価方法	(1)定期試験(口述)を実施する。(2)中間試験(口述)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	中間試験	◎	◎		○		50%
履修上の注意							

科目名	作文初中級 I						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	柴藤絵美		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	作文を書くことに慣れ、初級で学んだ言葉や文法を使って身近なテーマの400字程度の作文が書けるようになることを目指す。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		話し言葉と書き言葉を使い分けることができる。	
	○	○		○		原稿用紙の使い方も含め、正しい表記ができる。	
	○	○		○		具体的な例を挙げて分かりやすく説明できる。	
	○	○		○		自分の気持ちを豊かに表現できる。	
テキスト・教材 参考図書	門脇薫 『やさしい作文』 スリーエーネットワーク 2018年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	プレゼント				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	2	旅行				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	3	日本でびっくりしたこと				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	4	わたしの夢				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	5	隣の人にひとこと				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	6	手紙・メール				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	7	国との比較(1)				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	8	国との比較(2)				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)宿題を数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	宿題	◎	◎		○		50%
履修上の注意							

科目名	文字語彙初中級 I						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	柴藤絵美		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	日常生活でよく使われる約1200語を、短い文や語句を使って効率よく学ぶ。						
授業形態	講義	○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		日常的な場面に必要な語彙の意味や用法を正しく理解し、使うことができる。	
	○	○		○		習った言葉の正しい発音や表記ができる。	
テキスト・教材 参考図書	佐々木仁子・松本紀子 『日本語総まとめN4漢字・ことば』 アスク出版 2017年 佐々木仁子・松本紀子 『日本語総まとめN3語彙』 アスク出版 2010年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第4週1日目～3日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	2	第4週4日目～6日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	3	第4週7日目～第5週2日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	4	第5週3日目～5日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	5	第5週6日目～第6週1日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	6	第6週2日目～4日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	7	第6週5日目～7日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	8	第1週1日目～3日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	9	第1週4日目～6日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	10	第1週7日目～第2週2日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	11	第2週3日目～第2週5日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	12	第2週6日目～第3週1日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	13	第3週2日目～4日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	14	第3週5日目～第3週7日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	15	まとめ				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎	◎		○		50%
履修上の注意							

科目名	文法初中級 I						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	柴藤絵美		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	日常的な場面で使われる文法を学び、N3合格を目指す。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		文の内容に合った文法形式かどうか判断できる。	
	○	○		○		統語的に正しく、かつ、意味が通る文を組み立てることができる。	
	○	○		○		文章の流れに合った文かどうかを判断できる。	
テキスト・教材 参考図書	佐々木仁子・松本紀子 『日本語総まとめN4文法・読解・聴解』 アスク出版 2010年 佐々木仁子・松本紀子 『日本語総まとめN3文法』 アスク出版 2010年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1週①			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	2	第1週②			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	3	第2週①			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	4	第2週②			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	5	第3週①			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	6	第3週②			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	7	第4週①			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	8	第4週②			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	9	第1週1日目～3日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	10	第1週4日目～6日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	11	第1週7日目～第2週2日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	12	第2週3日目～5日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	13	第2週6日目～第3週1日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	14	第3週2日目～4日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
15	第3週5日目～7日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)中間試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
中間試験	◎	◎		○		50%	
履修上の注意							

科目名	日本事情Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	柴藤絵美		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	基本的なレベルの日本の地理・歴史・風習・大衆文化・伝統文化などについて学生が主体となって調べ、発表する。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		興味を持ったことについてネットなどで調べることができる。	
	○	○		○		調べたことを分かりやすくみんなに伝えることができる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	日本のスポーツ			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	2	部屋を探す			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	3	日本の食べ物			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	4	日本の家			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	5	結婚			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	6	旅行			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	7	仕事			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	8	マナー			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
評価方法	(1)授業への参加状況(事前学習、事後学習を含む) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題	◎	◎		◎		100%
履修上の注意							